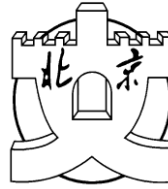


かささぎ



北京日本人学校
学校通信第8号
平成29年12月23日
校長 奥田 修也

少し前に5年生のお便りでサンタさん論争?がありましたね。そこで、私もひとつ。

北京日本人学校校長 奥田修也

放送台本『Mr.OKUDAのスペシャルクリスマス』

音楽 (1) FADE IN 『オルゴール曲 ホワイト・クリスマス』

L: みなさん、こんにちは、今日の放送は、「クリスマス特別スペシャル」です。

ミスターおくだと、私たちBJシスターズでお送りする10分間、お楽しみください。 音楽 (1) FADE OUT

L: ミスターおくだは、ドイツで暮らしたことがあるそうですが、ドイツってクリスマスの本場なんですよね?

S: まあね、例えば、このごろ日本や中国でも、はやってきたアドベントカレンダーってお菓子、

Y: ええ、北京でもこの時期見かけますよ。小さな窓を一日ごとにあけていくと、チョコなんかが出てくるやつですね、

S: うん、あれもドイツでは、昔からすごく安く売ってて、子供たちが、毎日一つずつ小窓を開けて楽しんでたね。

Y: あの・・・ ドイツでもクリスマスプレゼントは、日本なんかと同じですか? S: それはちょっと違うなあ。

L: 違いますか?

S: うん。ところで、Yさん、サンタさんは、なんでみんながほしがってるプレゼントが分かるんだろうねえ?

Y: さあ、一軒一軒のおうちの煙突からのぞいて、あれがほしい、これがいい、なんて話してる子供たちの話を、そうっと聞いてるんじゃないんですか?

L: そんなあ、日本じゃ、煙突のある家なんか、ほとんどありませんよ。

Y: そう言われると、そうですね? それじゃ、やっぱりサンタさんはサンタさんだから何でも知ってる・・・

S: そんな・・・, サンタさんだって知らないものは知らないよ。それから、サンタさんは、もらえるのかなあ?

L: なにをですか? S: その前に、一曲聴いてみようか。

L: そうですね。では、『ラスト・クリスマス』をどうぞ。

音楽 (2) IN → 『LAST CHRISTMAS』 WHAM! → 音楽 (2) OUT S: さっきの続きなんだけど、

L: はい S: サンタさん自身はプレゼントがもらえるのだろうかということ。

L: ええ? 突然難しい質問ですね。

Y: ...それはね...、きっと、サンタさんにとっては、子どもたちがプレゼントを開けたときの笑顔を見るのが最高の喜びなんじゃないでしょうか。S: なるほど! いいこと言うねえ。

L: そうですね、与えることの喜び、それがサンタさんが受け取るプレゼントですね。

S: では、ドイツの話に戻りましょう。12月6日の夜にね

L: クリスマスって、24とか25日じゃないんですか?

S: いやいや、まず、12月6日がセントニコラスの日ってあって、よい子のところにサンタさんがやってくる日なの。

Y: 6日はクリスマスじゃないのに、何しに? S: 6日の夜寝る前に・・・, ベッドの支柱があるでしょう、

Y: わかった! 靴下をぶら下げるんでしょう? S: そうそう、きれいに磨いた靴でもいいけど。

L: そしたら、サンタさんがその中にプレゼントを入れてくれると・・・ S: そうだね。

Y: そうかあ・・・ S: そういうこと、それでは2曲目いきましょ。

L: 2曲目は、ドイツ語版の「もみの木」です。

音楽 (3) IN → 『O TANNENBAUM(もみの木)』 WIENER SANGERKNABEN → 音楽 (3) OUT

S: よい子にしていたご褒美だよ、という意味を込めて、サンタさんは靴下の中に、ちょっとしたお菓子を入れて帰って行くんだよ。

Y: あ! 分かった! それが、日本でもクリスマスシーズンにどこでも売ってる、赤いブーツのお菓子なんですね。 S: まあ、あんなにたくさんお菓子は入ってないけどね。

Y: では私も今夜、ベッドの柱にカラの靴下を下げた寝ます。OOがほしいって書いたメモを入れて。

S: OOとは?・・・

でも、それは、よい子でないといけないんだよ。だから、ドイツでは、その頃になると、子供たちはみんなよい子になってしまう。Yさんは、よい子にしてるかなあ。。? しかも、もう、12月6日は過ぎちゃったし。

Y: ああ、もう今日は12月23日。そうなんですね、来年まで待たなくちゃいけないとは・・・ それは残念です!

L: それでは、このスペシャル放送もまた来年ということで、突然ですが、みなさん、さようなら!

S&Y: えっ!? そんな。。・・・さ、さようなら!

音楽 (4) FADE IN → 『オルゴール曲 きよし この夜』 → 音楽 (4) FADE OUT



みなさん、今年1年、北京日本人学校にご支援ご協力ありがとうございました。
楽しいクリスマス・よい新年をお迎えください!

(注: この台本は、あくまでもお楽しみフィクションです)

© Okuda . S



学習発表会を終えて

小学部

11月17日（金）に小学部の学習発表会が行われました。どの学年も趣向を凝らした発表を用意し、大いに盛り上がる事ができました。1年生は「北京どろぼう学校」の劇を見せてくれました。かこさとしさんの原作をもとに、北京用に書き換えた内容でとてもたのしい劇でした。2年生はリズム遊びを中心に学校生活の様子を表現しました。3年生は体育や音楽の発表をかわいいスパイたちが披露しました。4年生はドラゴンクエスト。見事に宝物を見つけることができました。5年生は迫力の太鼓パフォーマンスが圧巻でした。6年生はまるでコンサートを見ているような発表でした。

学年みんなで力を合わせて、1つのショーを作り上げる経験は、きっとこれからの学年の団結につながっていくものと思います。そして団結した学年集団の中で生活することで互いに刺激しあい、励まし合いながら大きな成長につながるものと期待しています。来年度はさらにパワーアップした発表をお楽しみに。



鑑賞教室を終えて

学習部

11月21日（火）に鑑賞教室が行われました。毎年、中国の文化や芸術に親しむという事で、様々なテーマで行われています。今年のテーマは「雑伎」でした。子どもたちは、力強く、迫力満点の演技に終始ハラハラどきどきしながら、食い入るように演技を見つめていました。大きな技が決まると、体育館中がどよめくように歓声があがりました。最後には、3歳から12歳くらいまでの子どもたちによる少林寺拳法も披露され、大きな拍手が沸き起こりました。同年代、または自分より年下の子どもたちの見事な演技に、それぞれ感じるものがあったのかもしれない。



演技後には、生徒を代表し、生徒会の2名がお礼の言葉を述べました。日本語と中国語で交互に話す姿はとても立派でした。

今回の鑑賞教室のように、生の演技を見る体験を通して豊かな感受性を磨くとともに、伝統文化や芸術の面から中国を知り、より中国に親しみをもつことができればと思っております。

国際弁論大会を終えて

中学部

11月25日（土）に北京市月壇中学との第30回日中友好交流弁論大会が開催されました。在日本国大使館四方主席公使様を始め多数の来賓の方々のご臨席のもと30周年記念行事とともに盛大に行われました。1988年以降、日中関係が悪化した局面でも、30回も続けられている歴史のある交流です。弁論大会では、本校から6人、月壇中から6人の計12名の弁士が日本の生徒は中国語、中国の生徒は日本語を使い、「私の夢」「未来の日中関係」などのテーマで交互に弁論を行いました。また、弁論大会に引き続き、今年度は30回の交流行事を行い、ダンス、合唱、バンド演奏、二胡や中国琴の演奏そして日中発展のための提言に関するプレゼンテーションと、バリエーション豊かな記念行事にふさわしいアトラクションでした。今後も40年、50年と姉妹校として両校の発展と日中友好の架け橋として強い絆で結びついていくことを願い大会は終了しました。

改めまして、この会のためにご協力いただいた在中国日本国大使館、中日青年交流中心、北京市人民对外友好協会、西城区政府外事僑務弁公室、国際交流基金北京日本文化センター等の関係各位に感謝申し上げます。



ただいま 何人？

小学部 平成29年12月23日現在

小学部			平成29年12月23日現在				
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	8	8	16	4-1	13	10	23
1-2	9	8	17	4-2	12	10	22
1-3	8	8	16	5-1	15	10	25
2-1	9	9	18	5-2	14	11	25
2-2	8	9	17	6-1	9	10	19
2-3	9	9	18	6-2	9	8	17
3-1	14	9	23	小総計	151	129	280
3-2	14	10	24				

中学部

中学部							
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	10	7	17	3-1	6	6	12
1-2	10	6	16	3-2	6	6	12
2-1	6	8	14	中総計	45	40	85
2-2	7	7	14	総合計	196	169	365